



宮のおんがく会 vol.2 矢辺新太郎とその仲間たち

2011.11.23(水) 開場13:30 開演14:00 富士宮市民文化会館大ホール

主催：宮のおんがく会実行委員会 後援：富士宮市教育委員会
協賛：(財)みやしん地域振興協力基金



ごあいさつ

本日は、宮のおんがく会Vol.2「矢辺新太郎とその仲間たち」にご来場いただき、誠にありがとうございます。

富士宮市民文化会館では、地元出身の音楽家及び富士宮市を中心に活躍する音楽家に活動の機会を提供し、音楽を通じて地域文化の向上につなげていきたいという思いから、自主事業「宮のおんがく会」を企画いたしました。

昨年9月のVol.1では、ピアノと歌で綴る「塩川美香子ジョイントコンサート」を開催し、多くのみなさまより喜びの声をいただきました。

このおんがく会を継続、さらに発展させていくため、今年新たに「宮のおんがく会実行委員会」を設立し、音楽家のみなさまに企画からご参加いただき、内容の充実を図ってまいりました。

本日のコンサートは、管楽器を中心としたプログラム編成でお届けします。地元の音楽家が奏でるすばらしい演奏を通じて、音楽をより身近に感じていただけたら幸いです。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

これからも「宮のおんがく会」が、さらに市民の皆様親しみをもっていたいただけるような企画、運営に取り組んでまいります。

最後になりましたが、開催にあたり、ご支援ご協力をいただきました関係者のみなさまに心より感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご指導ご鞭撻をお願い致しましてあいさつとさせていただきます。

宮のおんがく会実行委員会委員長
財団法人富士宮市振興公社理事長
安倍雅史



「宮のおんがく会」開催に寄せて

宮のおんがく会vol.2が、昨年に引き続き盛大に開催されますことを心から喜び申し上げます。

宮のおんがく会は、富士宮市内外で活躍されている「地元出身の音楽家」に「地元の会場」で演奏してもらい、多くの市民に聴いていただくということをキャッチフレーズに開かれるものです。開催に当りましては、宮のおんがく会実行委員会をはじめ多くの関係者の方々のお力で開催できますことを改めまして敬意を表すとともにお礼申し上げます。

今、富士宮市では、富士山ジュニアユースオーケストラ定期演奏会、富士宮室内オーケストラ、富士宮合唱連盟による演奏会、市役所で行なっているランチタイムコンサート、麓山の家コンサート、十六市コンサートなど音楽文化の風土が高まりつつあります。宮のおんがく会もその一つであります。また、小中学生の音楽研究発表会も毎年、秋に行なわれておりますが、合唱や吹奏楽の演奏が内外から高く評価されております。子どもから大人まで音楽に親しみ、音楽で心を癒すとともに、富士宮市の音楽文化の一層の広がりを心から願っております。

ところで、音楽の父と言われているヨハン・セバスティアン・バッハは音楽について「音楽だけが世界語であり、翻訳される必要がない。そこにおいては魂が魂に働きかける」という名言を私たちに残してくれました。音楽が人と人との心の架け橋になり、世界の人々を結ぶ役割りを果たしていると思います。

今後も、宮のおんがく会がより充実し、発展していくことを祈念しております
富士宮市教育長 佐野敬祥

Program

〈第1部〉

- | | | |
|---|----------------------|----------------------------|
| 1 | 愛の喜び | フリッツ・クライスラー |
| 2 | 愛の悲しみ | フリッツ・クライスラー |
| | | S.Sax 矢辺新太郎 Piano 塩川美香子 |
| 3 | 美しい夕暮れ | クロード・ドビュッシー |
| 4 | ソナタ イ長調 | セザール・フランク |
| | 第1楽章 アレグレット・ベン・モデラート | |
| | 第2楽章 アレグロ | |
| | 第3楽章 レチタティーヴォ〜ファンタジア | |
| | 第4楽章 アレグレット・ポコ・モツ | |
| | | A.Sax 矢辺新太郎 Piano 塩川美香子 |

休憩

〈第2部〉

- | | | |
|---|----------------|--|
| 1 | ガーシュウィン・カクテル | ジョージ・ガーシュウィン／真島俊夫 |
| | | A.Sax 矢辺新太郎 Piano 塩川美香子 |
| 2 | スカラムーシュ | ダリウス・ミヨー／池谷隼人 |
| | 第1楽章 ヴィフ | |
| | 第2楽章 モデレ | |
| | 第3楽章 ブラジレイラ | |
| | | Flute 中川美恵 A.Sax 矢辺新太郎 Piano 稲留倫子 |
| 3 | パープル(紫) | 阿部清美 |
| | | Clarinet 山本陽子 B.Sax 矢辺新太郎 Piano 稲留倫子 |
| 4 | 里の秋 | 海沼実／池谷隼人 |
| 5 | 秋のポップメモリー〜赤とんぼ | 池谷隼人 |
| | | Flute 中川美恵 Clarinet 山本陽子 T.Sax 矢辺新太郎 Piano 稲留倫子 |

次回、宮のおんがく会 Vol.3「(仮)弦楽と歌の調べ」は2012年秋に開催の予定です。

Program Note

愛の喜び、愛の悲しみ

フリッツ・クライスラー(1875-1962)はオーストリア出身のヴァイオリン奏者、作曲家。自身で演奏するために数多くの小品を作曲したが、この2曲は中でもあまりにも有名な作品。そのためカセットで演奏されることが多い。「喜び」はそのタイトルの通り、晴れやかで親しみやすく、「悲しみ」の方は独特の愁いを帯びた情感が美しい。

美しい夕暮れ

クロード・アシル・ドビュッシー(1862-1918)はフランスの作曲家で、よく「印象派」といわれる。長調や短調といった通常の音階や和音を使わない、自由な作風でファンが多い。「美しい夕暮れ」はポール・ブルジェの詩に感銘を受けた当時17歳の彼が作曲したもの。短く美しい青春の日々を歌った名曲。

ソナタ イ長調

セザール＝オーギュスト＝ジャン＝ギヨーム＝ユベール・フランク(1822-1890)はベルギーで生まれ、フランスで活躍した作曲家、オルガン奏者。この作品はヴァイオリンとピアノのためのソナタの最高傑作といわれ、有名なヴァイオリニスト、ウジェーヌ・イザイの結婚祝いとして書かれた。通常の独奏、伴奏という概念を超えた、2つの楽器によるスケールの大きな2重奏曲といえる。

作品全体を通して共通のテーマが繰り返されるフランク独特の技法によって作曲されており、体力、精神力、演奏技術といった全てを要求されるサクソフォンにとっても最高難度の作品である。

20年近く憧れ続け、なぜか演奏する機会がなかった作品。私にとっても大きな挑戦だが、クラシック音楽におけるサクソフォンという楽器の可能性を感じていただければうれしい。

ガーシュウィン・カクテル

世界中のナイトクラブで毎晩演奏されているジャズ・スタンダードの半分はジョージ・ガーシュウィン(1898-1937)のラブソングといわれる。クラシックとジャズを融合させた彼の音楽は時代や国籍をいとも簡単に飛び越え、親しまれてきた。そんな魅力的なメロディたちをまるで色とりどりのカクテルを嗜む感覚で楽しむことができる作品。

スカラムーシュ

ダリウス・ミヨー(1892-1974)はフランスの作曲家で、ガーシュウィン同様、クラシックとジャズ、タンゴなどのジャンルを超えた融合を積極的に試みた一人。映画やテレビの音楽なども多く、創作意欲の固まりのような人物だった。

<道化師>の意味を持つ「スカラムーシュ」は彼の作品の中でも最もよく知られた作品の一つ。通常は2台ピアノの為の作品と思われがちだが、実際はアルトサクソフォンとピアノの為に書かれたもの。コミックオペラ「空飛ぶお医者さん」という作品が元になっている

パープル(紫)

長野県安曇野市で活動中の作曲家、阿部清美さんが昨年の秋、サクソフォン四重奏団「ソレイユカルテット」でともに活動するサクソフォン奏者、川口力くんと私の為に、子供の頃からいままでずっと脳内に鳴っている音をそのまま作曲して下さった。うっすらと霧がかった紫の夜明け、喜びも悲しみも全てを包み込むような情景に想いを馳せたという。

里の秋、秋のポップメモリー、赤とんぼ

日本の秋にちなんだかわいらしい作品たち。ゆったりとした「里の秋」と、残りの作品はポップでジャジーな本日のためだけの特別なアレンジで。

解説：矢辺新太郎

Profile



矢辺新太郎(サクソフォン)

富士宮市出身。1998年国立音楽大学器楽学科(サクソフォン)首席卒業。同年、同大卒業演奏会、ヤマハ管楽器新人演奏会、サントリーホール "RAINBOW21"デビューコンサートに出演、静岡にてデビューリサイタル開催。サクソフォン四重奏団「ソレイユ・カルテット」メンバーとしても99年東京、静岡でデビューリサイタル。

1995年全日本ソリストコンテストに入選。1996、1997年同大オーディション合格者によるソロ・室内楽定期演奏会、同大70周年記念演奏会に出演。2000年静岡大学大学院修了、福利厚生後援会長賞受賞。同年ドイツ・ドルトムントにて行われた第1回ギュスターヴ・ブンケ国際サクソフォンコンクールにて特別賞受賞。2005年第6回日本アンサンブルコンクール入選、第6回大阪国際音楽コンクール第3位。ソロリサイタルをはじめ、室内楽、オーケストラや吹奏楽団との共演、ライブハウスでのジャズ、ロックバンドとの共演など、ジャンルにとらわれない演奏活動を行っている。

2001年には当会場にて富士宮室内オーケストラ(指揮:土屋義昭)とグラズノフ作曲「アルトサクソフォン協奏曲変ホ長調」を共演し好評を博す。

新作の初演も数多く、P・エスコット作曲「ヴィジョーネ」(ソプラノ、フルート、サクソフォン、コントラバスと打楽器のための)、T・ホークソン作曲「エグザラティオ」(サクソフォン四重奏のための)、ニューヨーク大学教授R・ロー作曲「シールズ」(ソプラノ・サクソフォンとライブ・コンピュータ・システムのための)、内藤淳一作曲「サクソフォン四重奏曲」など、いずれも作曲者の依頼により作曲者立ち会いの下演奏し、絶賛された。

これまでに石渡悠史、下地啓二、服部吉之、北山敦康、須川展也、田中靖人、F・モレッティの各氏に、マスタークラス等で雲井雅人、J=M・ロンデックス、E・ルソー、J=Y・フルモー、J・ルデューの各氏に師事。現在、常葉学園短期大学非常勤講師、静岡県立清水南高等学校非常勤講師、静岡県立藤枝東高等学校音楽部音楽監督。吹奏楽コンクール等の審査員、テレビ、ラジオ出演などその活動は多岐に渡っている。

AIZEN マウスピース契約アーティスト。

CD「涸れることない泉のように」

使用楽器: Prima Yanagisawa Saxophones



塩川美香子(ピアノ)

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。米国ボストンにあるニューイングランド音楽院修士課程修了。ロンジー音楽院アーティストディプロマコース修了。常葉学園短期大学音楽科講師及び常葉学園橋高等学校音楽科講師を経て現在に至る。

1981年、1984年、1987年に富士宮市民文化会館大ホールにてソロリサイタルを開催。1991年には大ホールにおいて富士宮室内オーケストラとモーツァルトピアノ協奏曲を協演、好評を博す。子育てをしながら、富士宮市民文化会館、富士ロゼシアター、静岡音楽館AOI、静岡市民文化会館等でソロ活動の他、室内楽、声楽や合唱の伴奏において多数の演奏会に出演している。

昨年「宮のおんがく会vol.1 塩川美香子ジョイントコンサート」に出演。

フジソリスト、富士クラシック協会会員。富士宮市在住。



中川美恵(フルート)

富士市出身。結婚を期に富士宮市民となる。常葉短期大学音楽科卒業、同校専攻科修了。茅原初子、北川祥子、川崎優、佐伯孝夫の各氏に師事。第2回静岡県フルートコンクールアンサンブル部門最優秀賞受賞。多数コンサートに出演。「富士ミューズフルートアンサンブル」「フジソリスデン」「八十の会」「エオリアンクラブ」会員。フルートアンサンブル「Flautista」を立ち上げ、第1回演奏会を9月に静岡AOIにて開催。フルートアンサンブル「Flautista」、バイオリン・フルート・ピアノのトリオ「トリオ・ザ・グレイシス」メンバー。オカリナサークル「華音オカリナ」「ほこあぼこ」指導。自宅にてオカリナ、フルートの指導にあたる。



山本陽子(クラリネット)

静岡県立富士宮西高等学校を経て、国立音楽大学器楽科(クラリネット)卒業。クラリネットを武田忠善、小笠原長孝、浜中浩一、潤井博文の各氏に師事。ソロや室内楽をはじめ、様々な演奏会に出演。

1997年にフルート、クラリネットとピアノによって結成されたトリオ(オルフェウス)では、富士市を中心に演奏活動を行う他、2年続けて日本レシエテツキソサエティのソリストオーディションに合格。

現在は県内の中学校、高校を中心に後進の指導にあたる。



稲留倫子(ピアノ)

宮崎県生まれ。武蔵野音楽大学を経て、ドイツ国立ロベルト・シューマン音楽大学卒業。演奏家国家試験に合格する。中井元昭、栗田和雄、ゲオルグ・ヴァンヤヘーリ、リア・ゲッツェの各氏に師事。1992、1994、1999年富士市においてリサイタルを開催。1993年シューマン管弦楽団と共演。2001年延岡フィルハーモニー管弦楽団と共演。ソロ活動の他、声楽、管弦楽器、合唱等の伴奏者としても活躍中。又、2010年ピアニスト大村知子氏とピアノデュオを結成し、富士宮市ふれあいピアノマラソン、富士宮市役所宮のランチコンサート、ロゼこどもコンサート、学校コンサート等に出演し好評を得ている。

県立沼津西高校非常勤講師。女声合唱団「アンサンブル・ハーモニー」及び富士宮少年少女合唱団伴奏ピアニスト。富士クラシック協会会員。

音楽と 暮らす、 しあわせ。

国産専門メーカーの、
最高のクオリティを、
音楽とともにあるあなたのために。
プリマ・ヤナギサワ
サクソフォーン

製造元
柳澤管楽器株式会社
<http://www.yanagisawasax.co.jp>
発売元
株式会社プリマ楽器
〒108-0004 東京都中央区日本橋1-7-8
Tel. 03-3866-2215 / 03-3866-2210
<http://www.prima-gakki.co.jp/>